

エネルギー交流ひろば KASHIMA 事業計画 (案)

1. 目 的 電気エネルギーで結ばれた、電気の故郷である鹿島町と電気の主な消費地である松江市及び広島市の女性グループが生活者そして、女性の立場で「両地域の季節の食材を活用した新たな郷土料理の創作」や「エネルギーシンポジウム」を通じて、エネルギーや電気、原子力の問題についての理解を深め、また、お互いの思いなどを語り合う交流会を開催する。
2. 主 催 資源エネルギー庁、中国通商産業局
3. 後援 (予定) 島根県、松江市、鹿島町、松江商工会議所、鹿島町商工会、山陰中央新報社、中国新聞社
NHK松江放送局、山陰中央テレビジョン放送、山陰放送、日本海テレビジョン放送
4. 日 時 平成12年2月16日(水)～17日(木) (1泊2日)
5. 場 所 鹿島町保健センター (島根県鹿島町)
松江東急イン (松江市)
6. 参加者 190名 (鹿島町50名、松江市50名、広島市90名)
7. 内 容 (1) 平成12年2月16日(水) 13:00～16:00
○エネルギー施設見学会 (島根原子力館、島根原子力発電所)
(2) 平成12年2月16日(水) 17:30～20:00
○エネルギーシンポジウム IN SHIMANE
コーディネーター：上田みどり先生 (広島経済大学教授)
パネリスト (候補)：鹿島町参加者代表 (2名)
松江市参加者代表 (1名)
広島市参加者代表 (2名)
コーディネーター：友成 真一 中国通商産業局 公益事業部長
(3) 平成12年2月17日(木) 10:30～13:30
○新郷土料理を囲んでの交流会 (新郷土料理の実演、試食会)
講師：料理研究家 奈宮 宏子 先生 (広島市東区)